

第三者評価受審終了証

法人名 社会福祉法人 大麻福祉の町

施設名 Bande 桜

貴施設は社会福祉法人徳島県社会福祉協議会「評価機関評価実施手法に関する規程」及び「評価機関事業内容等に関する規程」に基づく評価事業が終了したことを証します。つきましては、貴施設の独自の取り組みについて、次のとおり総評します。

<評価結果総評>

施設は、サービスの質の向上に向けた取り組みを組織的・計画的に実施している。第三者評価の受審にあたり、施設長のリーダーシップのもと、組織内に“第三者評価準備委員会”を立ち上げている。評価基準にもとづいて、全職員が自己評価を行い、個別の結果を少人数のグループで協議・検討し、評価結果案を作成している。評価結果案について、再度、第三者評価準備委員会のなかで協議・検討し、表出した課題等を職員間で共有している。また、施設内に苦情解決体制を整備し、苦情・相談等の解決に向けて協議するとともに、結果を利用者等へ伝えつつ、改善活動につなげている。サービスの質の向上・改善に向けて、継続的な組織体制を立ち上げ、機能するよう努めていることは、評価できる。

施設では、事業計画のなかで、利用者支援における5つの基本方針を掲げ、一人ひとりのニーズにそった支援を提供することを明示している。利用者の生活・活動に関する取り組み（生産活動、サークル活動、余暇活動、地域交流活動等）の内容・方針等についても記載し、支援に向けた方針を明確化している。本年度は、新たな生産活動としてアルコールインクアートを実施したり、肥満対策として運動器具を導入したりするなど、利用者の意向の反映や興味・関心を促すよう努めている。個別支援計画作成時には、職員や利用者の意見・意向とともに、理学療法士・作業療法士等の助言を受けて、身体機能の維持・向上も図っている。日ごろの生活動作のなかに、多くのプログラムを準備することで、利用者の意欲を高め、機能や能力の維持・向上を図っていることは、評価できる。

令和4年8月5日

<評価機関>
認定番号 第1号
社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会
徳島県 漆原 完次
議社活社活
会社福社福
次協協
印